百貨店展覧会史

戦後昭和の世相と文化の記録

志賀健二郎 編

日外アソシエーツ

はじめに

本書は、戦後昭和の、主に都心の百貨店で開催された展覧会をデータ化したもので、約８千件を収録している。８千件を分野でみると、データ数では美術の展覧会が最も多く、日本とともに世界各地の古代から現代までの優れた美術品が数多く紹介されていただけでなく、絵画、彫刻、版画などのファインアートや工芸、書に加えて、今では多くの美術館で当り前に扱われている写真、映像、グラフィック、ファッション、漫画など、昭和の頃にはまだ“美術”との境界線にあったいわゆるサブカルチャー的な展覧会も比較的早い時期から取り上げられていた。こうした幅の広さは美術の分野にとどまらず、歴史、文学、芸能、科学、学術ほか多岐にわたる文化･芸術の展覧会があるとともに、扱うテーマは、空間軸では日本から海外諸国、辺境、極地、宇宙まで、時間軸では地球誕生から未来世界までと大きな広がりをみせていた。さらに時事的な話題や社会的な問題をテーマとしたもの、子どもたちを対象とした教育や娯楽的なもの、人々が趣味や教養として研鑽を積んだ成果の発表、企業や行政によるプロモーションなども展覧会として開催されていた。このように多種多様な展覧会を開催することで、百貨店は美術館としてだけではなく各種博物館、公民館、イベントスペース、アミューズメントパーク、ショールームとしても機能し、都市の文化的なインフラとしての役割を担い、戦後日本の都市文化の形成と進展に大きな影響を及ぼしてきた。こうした百貨店の展覧会の多様な相貌は、その時々で都市生活者がどのような文化・娯楽を求め、享受し、知的好奇心を充足しようとしてきたかを示すものであるが、それを記録する資料は極めて不十分である。

戦後の展覧会の開催実績や内容は、展覧会図録やそこに掲載の論文のほか各分野の研究書、雑誌、新聞社・百貨店各社の社史などに記録されているが、多くはそれぞれの分野に関わることで断片的であり、それらを総合的にまとめたものは無い。また、記録は美術関係のものが圧倒的に多く、その他の分野となると資料は極めて乏しい。そこで、その欠を補うために、美術を含めて全体を俯瞰して見ることが出来るよう、東京都内とその周辺の百貨店の展覧会実績をほぼ網羅的にまとめたのが本書である。

本書は、戦後復興期から高度経済成長期、バブル期までの間、小売業界だけでなく社会的にも存在感を示していた百貨店が展覧会という形で取り組んできた戦後昭和の世相と文化の記録であり、営利企業でありながらも長年にわたり

文化にコミットし、“利益を直接的に生まない事業”を営業活動の一部として続けてきた百貨店業界の記録でもある。

戦後の百貨店が都市文化の進展に果たしてきた役割や、その中でどのような文化がフォーカスされ消費されてきたか、また企業の社会貢献のありようなど、百貨店、都市生活者、そして文化、芸術、社会、教育、経済の資料として、本書がそうした研究の一助となることを願う次第である。

2024年5月

志賀 健二郎

目　次

凡　例 …… (6)

百貨店の展覧会―概論 …… (9)

百貨店展覧会史―戦後昭和の世相と文化の記録…… 1

主催者名索引 …… 441

事項名索引 …… 523

凡　例

1. 本書の内容

(1) 本書は1945（昭和20）年8月から1989（昭和64）年1月（昭和の終わる）までの東京都心の百貨店などで開催された展覧会記録である。収録した展覧会数は7,793件である。

(2) 主に都心の百貨店を対象としているが、都下、神奈川、千葉、埼玉の百貨店展覧会も把握できたものは採録した。

2. 収録した展覧会

(1) 本書で取り上げる展覧会は、原則“百貨店が店内において行う販売を主要な目的としない催し物”を基準とした。但し、販売を目的としている展覧会（催し物）でも、時代相を物語るもの、文化の展開や普及の面で、記録に留めておくべきと判断したものは採用した。見せるだけなのか販売が目的なのか判然としないものもあり、すべてがこの基準通りとはなっていない。

1) 展覧会そのものは販売を目的とはしていないが、全店や催事場のフェアや売り出しにあわせて、集客や賑やかしのために企画されることも多い。百貨店展覧会の役割のひとつでもあるので、それらに併催、同時開催で行われることも示した。

2) 百貨店とは業態が異なる専門店ビル（テナント集積の商業施設）などで開催された展覧会も一部取り上げている。専門店ビルの展覧会は百貨店以上にとりあげられる機会は少ないため、記録として意義があると判断した。

3) 他会場へ巡回する場合は、把握できた範囲で、巡回先として首都圏の百貨店のみを記載した。

4) 固有名詞などの表記は元データのものを尊重した。同じ固有名詞でもデータによって表記が異なっている場合がある。展覧会タイトル、内容には現在では不適切と考えられる表現も含まれるが、時代の実相の検証のためそのままとした。

(2) 美術関係の展覧会における美術団体の公募展やグループの研鑽・発表展、生花や書道などの習い事や趣味のサークルの発表展などで、定期的に回を重ねて開催されているものは膨大なデータ数になるため、紙幅の関係もあり、多くを割愛している。

(3) 公立・私立の美術館、博物館のほか、百貨店以外の企業・団体などが設置している展覧会専用施設で開催された展覧会は原則収録対象外とした。

3. 百貨店・会場名表記

(1) 百貨店名の表記は、地名＋店名（屋号）に統一した。例えば、正式店名は日本橋三越本店、松屋銀座、小田急百貨店新宿店であるが、それぞれ日本橋三越、銀座松屋、新宿小田急としている（但し渋谷の東急百貨店は、本店がオープンした後は東横店が併存する形になるので渋谷東急本店、渋谷東急東横店とした）。専門店ビルなどの表記もこれに準じている。

4. 展覧会の記載事項

(1) 展覧会の記述は以下を原則としている。なお、会場と主催者が同じもので主催者表記が省略されているものがある。

(2) 記載項目

展覧会タイトル
　会期　会場名
(主催) ※財団法人、社団法人、株式会社は省略
(後援) ※同上
(料金) ※一般の入場料。無料の場合「無料」と表示。データがない場合省略
＊内容
　展覧会概要、出品内容など

(3) 展覧会のタイトル名および内容については、新聞社告、広告の表記や記述に拠るところが多いが、他に各種資料も参照し、それぞれで表現が異なっている場合の統一、内容面で必要と思われる追記や要約は、筆者の責任において行っている。

5. 本文の排列

(1) 各年見出し下の展覧会の排列は、開催年月日順（旧→新）とし、同一年月日のものは展覧会名の五十音順の排列とした。

(2) その際、濁音・半濁音は清音とみなし、ヂ→シ、ヅ→スとした。促音・拗音は直音とみなし、長音（音引き）は無視した。

6. 主催者名索引

(1) 展覧会の主催者名を五十音順に排列した。その際、濁音･半濁音は清音とみなし、ヂ→シ、ヅ→スとした。促音・拗音は直音とみなし、長音（音引き）は無視した。アルファベットで始まるものはNHK（エヌエイチケイ）など通称読み以外ABC順とし、五十音の後においた。

(2) 同一主催者のもとでは、開催年月日順（本文掲載順）に排列した。

(3) 本文の所在は展覧会名と掲載ページで示した。

7. 事項名索引

(1) 展覧会の主要キーワード（人名、作品名、団体名など）から展覧会タイトルを引けるようにした。排列は、読みの五十音順とした。その際、濁音・半濁音は清音とみなし、ヂ→シ、ヅ→スとした。促音・拗音は直音とみなし、長音（音引き）は無視した。

(2) 同一キーワードのもとでは、開催年月日順（本文掲載順）に排列した。

(3) 本文の所在は展覧会名と掲載ページで示した。

8. 展覧会データの出典

(1) 朝日新聞の1945～89年の全紙面から展覧会関係の事業社告と記事、および百貨店・専門店ビル各店の広告から採録し基礎データとした。これに毎日、読売、日経各紙の事業社告と記事、『新聞広告縮刷版』（SNA研究室編・世界文庫・1961年～）掲載の百貨店・専門店ビルの広告からデータを加え、産経、東京両紙および展覧会図録や関係資料からデータの追加・照合を行った。

(2) 西武美術館、船橋西武美術館、伊勢丹美術館、西武アートフォーラム、有楽町アートフォーラム、そごう美術館は、国立新美術館『日本の美術展覧会記録1945-2005』（https://www.nact.jp/exhibitions1945-2005/index.php）、小田急百貨店は同店の展覧会開催記録から追加・照合を行った。これらの百貨店美術館や小田急百貨店のデータは、他店データと比較すると採録数の比率が高くなっている。

(3) 参考にした図録、雑誌、関係書籍、Webサイトなどは膨大なため、出典については省略した。

百貨店の展覧会―概論

商品力と集客力は小売業を営む者にとって常に大命題であり、自らの店舗へいかにして多くのお客様に来店していただくかに知恵をしぼって、施策を実行していくのがその努めとなる。百貨店も小売業である以上これに注力するのは当然で、1904年に誕生した日本で最初の百貨店である三越が、「年中休みなし店内の博覧会化」、「売る事が目的でなく只顧客に観せる為の展覧会」を標榜して、1909年から毎年開催して集客面でも多大な成果をあげた“児童（こども）博覧会”などはその代表的な事例である。

三越に続いて呉服店から百貨店へと脱皮していった各店も、多かれ少なかれこの「店内の博覧会化」の施策を採用し、絵画、工芸といった美術や歴史の展覧会をはじめ、華道や写真などの趣味、各地の名所旧跡や物産、生活改善、新商品の陳列会、大売り出しなど多岐にわたる内容で、直接的には売る事だけが目的ではない催し物も数多く開催されていた。こうした催し物は、開催期間中の集客策というばかりではなく、これまで店に来たことのない方に来店していただくきっかけとし、その初めて来店された方に満足と店への親しみをもっていただいて再度の来店を期待するという、店のファン（固定客）づくりのための顧客政策上の施策でもあった。その中で文化的な催し物は、人々の趣味や興味に応えるとともに新しい知識や未知のことについての教育や啓蒙という公共的な側面をもつ活動と考えられていた。それは商品の販売と並んで百貨店の使命とも意識され、営利を度外視してもこれを続けていくことは一流百貨店の証でもあると捉えられるようになっていった。また、日本の百貨店は単に買い物をする場ではなく、家族でエンターテイメントを楽しむ娯楽の場であると同時に教養を身につける場であり、さらに都市生活者に向けて流行や理想的な生活スタイルを提案し、新しいモノやコト、ニュースなどの情報を現物によって伝える都市の中のビジュアルメディアでもあった。このメディアとしての役割は、大正後半から昭和にかけて、それまで上流・中流の上クラスを主たる顧客層としていた百貨店各店が、中産階級、大衆にも裾野を広げていったことで、その有効性がより高まっていった。

店のファンづくり、公共としての活動、メディアの役割などの要素は互いに相反するものではなく、催しによって強弱はあるもののそれぞれの要素のバランスをとりながら展開されていたのだが、このバランスが崩れて、公共とメディアの機能が肥大化したのが戦時体制下の国策展覧会であった。

国策展覧会とは、“国威発揚”、“戦意昂揚”、“戦時生活の啓蒙”などの国策プロパ

1973（昭和48）年

史跡と日本の名城写真展 国盗り物語に因む

1973.1.4～1.7　銀座三越 8階特設会場
(主催)日本城郭協会
＊安土城や桶狭間古戦場などの史跡50余点の紹介。東大資料編纂所より、道三、信長などの肖像画、日本各地の名城、城郭写真など。NHK大河ドラマ“国盗り物語”で使用の鎧、兜、太刀やカラースチール写真。

現代書道二十人展 第17回

1973.1.4～1.9　上野松坂屋 本館6階催事場
(主催)朝日新聞社
(料金)無料
＊20作家の新作約60点。

近藤日出造が描く150人展

1973.1.4～1.9　八重洲口大丸 8階催場
(主催)読売新聞社
(料金)無料
＊政界、財界、文化人、俳優、歌手、芸能人など著名人150人の似顔絵。

「不思議な世界」展 四次元の神秘をさぐる

1973.1.4～1.9　銀座松坂屋 7階特別大会場
(主催)読売新聞社
(料金)200
＊空飛ぶ円盤、レーザーホログラフィー、歌うサボテンの実験、念力測定、心霊現象、超能力など。

橋本関雪展

1973.1.4～1.17　新宿京王 8階ホール
(主催)読売新聞社
(料金)300
＊生誕90年を記念し、“玄猿”、“意馬心猿”など代表作のほか、書11点、未公開スケッチ、中国、ペルシャ、ギリシャで蒐集した貴重なコレクションなどを展観。

エルビス・プレスリー展

1973.1.5～1.9　池袋西武 7階ファウンテンホール
(主催)日本テレビ, RCA, MGM
(料金)200
＊誕生から現在まで約150点のパネル写真やステージ衣裳、愛用のギターなど。

京都 六波羅蜜寺展

1973.1.5～1.23　新宿小田急 本館11階文化大催物場
(主催)六波羅蜜寺, 朝日新聞社
(料金)250
＊空也上人像、伝清盛像など同寺所蔵の重文14点を含む、仏像、肖像、文書、絵画、工芸などと、1970年に本堂解体修理の際に発掘された“泥塔”、“木仏”など。

定陵地下宮殿宝物展 日中国交正常化記念

1973.1.12～1.31　池袋西武 7階ファンテン・ホール
(主催)定陵地下宮殿宝物展実行委員会, 読売新聞社
(料金)300
＊明代後期の万暦帝の陵墓の、1956年から数年にわたって発掘された千余点にのぼる副葬品の精巧な複製品88種350余点と宮殿の立体模型、訪中取材班が入手した写真など。大中国物産展と併催。

現代女流書展

1973.1.17～1.21　新宿伊勢丹 7階クローバーホール
(主催)毎日新聞社
(料金)無料
＊現代日本を代表する女流書家の80人。

密教美術名宝展 弘法大師御生誕千二百年記念

1973.1.17～1.28　日本橋髙島屋 本館8階催場
(主催)真言宗各派総大本山会, 日本経済新聞社
(料金)300
＊弘法大師生誕1200年を記念し、真言宗18本山から“風信帖”など国宝、重文50余点を含め、絵画、彫刻、法具、書跡など約40点。

インド細密画展

1973.1.18～1.23　八重洲口大丸 8階催場
(主催)インド国立博物館, 朝日新聞社
(後援)外務省, インド大使館
(料金)300
＊インド独立25周年を記念し、インド国立博物館所蔵のインドが誇る伝統絵画である細密画（ミニアチュール）の15世紀から19世紀の作品100点を日本初公開。インド古美術即売展併催。

日本の美人画展 福富太郎コレクション

1973.1.23～1.28　新宿伊勢丹 本館7階クローバーホール
(主催)読売新聞社
(料金)200
＊キャバレー王ともいわれた福富太郎が収集した浮世絵や近現代絵画から、60余点の肉筆浮世絵と岡田三郎助、小磯良平などの油絵計100点。

中国三千年 美の美展

1973.1.30～2.4　日本橋三越 7階ギャラリー
(主催)日本経済新聞社
(料金)300
＊国交回復記念として白鶴美術館、藤田美術館、根津美術館などの国内のコレクションから選んだ殷周青銅器、金銀器、陶磁器、古代彫刻など87点。中国工芸・インテリア・宝飾逸品会併催。

すばらしい紙の世界'73 29人の作家展

1973.1.？～1.9　銀座松屋 8階大催場
＊紙を遊びの材料に福田繁雄、柳原良平、吉沢章など29人の作家が制作した作品を展示。監修・構成福田繁雄。

世界の凧展

1973.1.？～1.9　池袋東武 8階大催事場
＊世界の凧、中国、日本の凧500余点。

貴ノ花・輪島と大相撲展

1973.1.？～1.9　池袋東武 8階大催事場
＊前年の11月九州場所から貴ノ花、輪島は大関に同時昇進して場所をつとめ、“貴輪時代”の本格的な幕開けと大相撲人気が高まっていたのを機に、両力士の写真パネル、大鵬・柏戸の化粧回し、横綱、手形、一畳の大きさの番付表など。

ルイス・カーン展 その発想と造形

1973.1.？～1.31　銀座松屋
＊建築家カーンの作品写真と自筆スケッチ78点。

'72 10大ニュース

1973.2.1～2.6　銀座松坂屋 新館ギンザ5 4階会場
(主催)毎日新聞社, 日本報道写真連盟
(料金)無料

'72あなたのニュース写真年間賞展

1973.2.1～2.6　銀座松坂屋 新館ギンザ5 4階会場
(主催)毎日新聞社, 日本報道写真連盟
(料金)無料

'72全日本毎日写真コンクール入賞作品発表展

1973.2.1～2.6　銀座松坂屋 新館ギンザ5 4階会場
(主催)毎日新聞社, 日本報道写真連盟
(料金)無料
＊“フォト'72”として毎日新聞社が3つの写真展を同時開催。

—元日本兵の生と死—「ルバング島の27年」展

1973.2.1～2.6　八王子大丸 8階催場
(主催)朝日新聞社
(料金)無料
＊八王子出身の小塚一等兵の遺品が生家に返るのを機に開催、フィリピンルバング島でフィリピン警察軍と遭遇して死亡した小塚一等兵と今も逃亡中の小野田少尉、それを紹介する様々な遺品、関係資料、本社特派員の捜索記録写真など。

親鸞聖人展 誕生800年記念

1973.2.1～2.13　八重洲口大丸 8階催場
(主催)真宗教団連合, 朝日新聞社
(料金)300
＊東西本願寺ほか全国20余寺から、国宝“親鸞聖人像”、“親鸞筆・三帖和讃”、重文“親鸞聖人絵伝”、“教行信証”など国宝、重文30余点を含む真宗の文化財約120点。

近代日本版画のあけぼの展

1973.2.2～2.7　銀座松屋 8階催場
(主催)日本経済新聞社
(料金)無料
＊山本鼎、森田恒友から三岸好太郎、棟方志功、畦地梅太郎まで、近代版画の先駆者70余人の作品150余点と資料。

木田金次郎展

1973.2.9～2.14　日本橋東急 7階グランドホール
(主催)朝日新聞社
(料金)無料
＊有島武郎の小説“生れ出づる悩み”の主人公のモデルとして知られ、有島の影響で画家の道に進んで独学で絵画修業に専心し、生まれ育った北海道岩内を拠点に北海道の風物を描き続けた木田の没後10年を記念して71点による回顧展。

'73古流協会展

1973.2.9～2.14　銀座松屋 大催場
(料金)300

三留理男写真報告展 ドキュメント中国 7億の素顔

1973.2.9～2.21　新宿小田急 本館11階文化大催物場
(主催)朝日新聞社
(料金)無料
＊昨年まで2年間、北京、上海、延安など中国各地を取材した1万枚の作品から、“北京・上海・広州”、“スポーツとバレエ”、“解放軍・民兵”など250枚を選び、新生中国を紹介。

全国小品盆栽名品展 第2回

1973.2.13～2.18　新宿伊勢丹 本館4階催物場
(主催)日本小品盆栽会
＊全国から50席、600点以上。

立木義浩写真展 「花咲くMs.（ミズ）たち」

1973.2.13～2.18　銀座三越 8階催物場
(主催)キヤノン
(後援)毎日新聞社
(料金)300
＊新しい女性像を求め各地に取材した新作100余点。

高山辰雄展 日月星辰

1973.2.20～2.25　日本橋髙島屋 本館8階催場
＊完成した六曲五双の屏風“日月星辰”と近作10余点。

仏跡ボロブドール展

1973.2.20～3.2　三菱オート・ガーデン（芝）
(主催)毎日新聞社
＊ユネスコの修復募金。

石川啄木展 岩手の生んだ情熱の天才詩人

1973.2.27～3.4　日本橋髙島屋 本館5階催場
(主催)岩手日報社
＊小説、書簡、歌稿、ノート、日記、愛用品、写真などの貴重な資料。“岩手県の物産と観光展”に併催。

'73日本カメラショー

1973.2.27～3.4　日本橋髙島屋 本館8階催場
(主催)日本写真機工業会

ベルナール・ビュッフェ展 ビュッフェ美術館開設記念

1973.2.27～3.4　日本橋三越 7階ギャラリー
(主催)日本経済新聞社
(料金)無料
＊駿河銀行頭取の岡野善一郎が収集したビュッフェのコレクションを収蔵する美術館の10月開館にさきがけ、所蔵の初期の代表作から近作までの大作、60年代までの32点、70年代の20数点、計50余点を本邦初公開。

ザッキン大回顧展 現代彫刻の巨峰

1973.2.27～3.14　新宿伊勢丹 7階クローバーホール
(主催)読売新聞社, 現代彫刻センター
(料金)300
＊1920年から67年までの彫刻49点を中心に、グワッシュ、デッサン33点、タピスリー4点による回顧展。

さようなら大場政夫展 栄光の世界フライ級チャンピオン

1973.2.？～2.11　新宿三越 別館4階

ラファエル前派とオックスフォード展
1987.7.9～8.4　新宿伊勢丹 新館8階伊勢丹美術館
主催 朝日新聞社
料金 900
＊オックスフォードの美術館、大学、教会から油彩、水彩、素描、タピストリーなど100余点。

'87世界報道写真展
1987.7.17～7.22　新宿小田急 本館11階小田急グランドギャラリー
主催 毎日新聞社, 世界報道写真オランダ財団
料金 500
＊53カ国765点から約200点。

'87中央競馬展
1987.7.17～7.22　銀座松屋 8階
主催 JRA
料金 無料
＊ビデオで再現、G1レース。

小杉小二郎さし絵展
1987.7.21～7.26　日本橋三越 美術画廊
主催 朝日新聞社
料金 無料
＊本紙朝刊の連載小説“ささやかな不仕合せ”の挿絵原画104点。

唐招提寺展 天平の秘宝から昭和の収蔵品まで
1987.7.23～8.18　日本橋高島屋 8階
主催 唐招提寺, 朝日新聞社
料金 900
＊鑑真和上生誕1300年記念。奈良から江戸期の彫刻、絵画、工芸など約100点。東山魁夷が描いた御影堂障壁画のスケッチや試作品とともに森本孝順長老が収集した経巻や宸翰なども展観。

金子鷗亭 書業60年のあゆみ展
1987.7.24～7.29　銀座松屋 8階大催場
主催 毎日新聞社
料金 500
＊初期から現在にいたる作品約50点に新作を加え100余点。

林武展 女性美でたどる・生への確証
1987.7.24～8.5　池袋西武 8階西武アートフォーラム
主催 毎日新聞社
料金 600
＊1975年に亡くなった林武の画業の根底に流れる女性像の系譜にスポットをあて、未発表作品から代表作まで油彩63点、素描20点。

フライ＆ルアーフィッシング展 スタイリッシュに、釣りたいね。
1987.7.24～8.5　池袋西武 7階大催場
料金 無料
＊イワナ、ヤマメなどの対象魚水族館、源流フォトギャラリー、フィッシングの歴史など。

ポップ・アート展 日常からの発信
1987.7.24～8.18　新宿小田急 本館11階小田急グランドギャラリー
主催 毎日新聞社
料金 800
＊イギリス、アメリカの代表作家、ホックニー、リキテンスタイン、オルデンバーグ、ウォーホルなど27人の絵画と彫刻70点で構成する日本最初の大型ポップ・アート展。

ソビエト宇宙大科学展
1987.7.25～8.4　池袋西武 7階大催事場
主催 日本対外文化協会
料金 700
＊CCCP宇宙館、未来科学館など、宇宙開発、物理学、生物学などのソ連科学70年の歩みを日本初公開。

三越こども大博覧会
1987.7.25～8.9　日本橋三越 7階ほか
＊こどもプレイランド、屋上では林間学校など。

モンドリアン展 純粋抽象への展開
1987.7.25～8.31　池袋西武 12階西武美術館
主催 東京新聞, 西武美術館, ハーグ市立美術館
料金 900
＊初期具象から晩年に至る油彩、水彩、素描110余点による初の回顧展。

大恐竜展
1987.7.28～8.9　新宿三越 7階催事場
主催 フジテレビジョン
料金 500
＊動く！ 吠える！ いまよみがえる一億年前の世界。

土門拳の全貌展 写真界の巨匠
1987.7.29～8.16　横浜そごう 6階そごう美術館
主催 そごう美術館, 神奈川新聞社, 土門拳記念会

アドベンチャーワンダーランド
1987.7.30～8.11　池袋東武 8階大催事場
主催 アドベンチャーワンダーランド展実行委員会
料金 700
＊映画と遊べる不思議ワールド、ハリウッド100年を飾る名場面、ルーカスの宇宙体験、ユニバーサルスタジオツアーなど。

映像と写真でつづる愛の成長記録展 トントンとその仲間たち
1987.7.30～8.11　八重洲口大丸 12階大丸グランド・ホール
料金 300
＊満1歳を記念。“'87愛のカルガモ展”を同時開催。

'87鉄道模型ショウ 第9回
1987.7.31～8.5　銀座松屋
主催 日本Nゲージ鉄道模型工業会
料金 300
＊ドイツの完全手づくりメーカー、ボックホルト社の1番ゲージ、ほか100㎡の大集合レイアウト。

ネパール・神々と舞踊劇展 大ネパール王国祭
1987.7.31～8.11　新宿京王 8階大催場
主催 読売新聞社
料金 800
＊神像、マンダラ、法具などの展示のほか、現地から招聘した仮面舞踏団によるパフォーマンスを上演。

浩宮さま ネパールの想い出写真展
1987.7.31～8.11　新宿京王 8階
主催 読売新聞社
料金 無料
＊浩宮さまが3月にネパールなど3カ国を親善訪問したときの浩宮さま撮影の13点と、本社写真部員の写真を加え40点。

カリブの“海賊”財宝展 コロンブス新大陸発見500年
1987.7.31～8.12　渋谷東急本店 7階催事場
主催 テレビ朝日, 朝日新聞社
料金 900
＊カリブ諸国の絵画、写真、海の英雄や海賊たちの生活用具、武器、財宝など約250点。

ぞうのババール原画の世界 フランス絵本の王様
1987.7.31～8.19　船橋西武 10階船橋西武美術館
主催 西武美術館
後援 朝日新聞社
料金 500
＊ジャン、ロラン親子が描き続けるババールの原画、ジャン55点、ロラン45点。

佐藤邦雄 動物イラストレーション展
1987.7.？～7.29　有楽町阪急 8階コミュニティギャラリー
料金 無料
＊動物を擬人化したイラストで人気の原画を展示。ポストカードなど即売。

おもしろ童話館
1987.7.？～8.5　日本橋東急 7階グランドホール
料金 300
＊動く世界の名作童話、動く絵本、絵本の原画など。

ねむの木学園の子どもたちとまり子美術展
1987.8.6～8.11　日本橋高島屋 8階
主催 ねむの木学園
料金 無料
＊パリ市立近代美術館での開催の前に、学園のこどもたちが描いた絵画350点と布絵。

'87パソコン通信フェア ビジネスが・・・暮らしが変わるネットワーク時代
1987.8.6～8.11　上野松坂屋 本館6階大催事場
後援 郵政省
料金 無料
＊“パソコン通信の基礎知識”、“体験MSX通信”などの講演会やフォーラム、東西パソコン通信囲碁対局、新聞記事データベースなど。

「ウォッチング」展
1987.8.6～8.16　新宿伊勢丹 本館5階催物場
主催 NHKサービスセンター, NHKプロモートサービス
料金 無料
＊タモリの人気番組NHKの“ウォッチング”。ゆかいな動物たちをとらえた映像とタモリのトークショー。

北海道の昆虫と北の仲間たち展
1987.8.6～8.17　玉川高島屋 6階ホール
主催 世田谷昆虫愛好会
料金 無料
＊英人探検家ブラキストンが見つけた不思議な昆虫や動物。エゾシロチョウ、オオカミウオ、エゾリスなど、蝶の観察、北海道の珍しい魚や動物たち。

ナイーフ3人展 原田泰治とユーゴの仲間たち
1987.8.6～8.25　新宿伊勢丹 新館8階伊勢丹美術館
主催 朝日新聞社
料金 800
＊原田泰治とユーゴの素朴芸術を代表する二人の画家の作品約100点。翌年2月、横浜高島屋へ巡回。

F-1 WORLD
1987.8.7～8.19　池袋西武 7階大催事場
主催 フジテレビF-1グランプリ事務局
料金 500
＊F-1体感ゾーン、最新マシン日本初公開、歴代F-1マシン博物館、グッズ販売。

からくり人形展
1987.8.8～8.19　銀座松屋 8階大催場
主催 朝日新聞社
料金 600
＊全国各地の山車からくり、座敷からくりを中心に約70点。和時計やからくり師の発明品も展観。

世界の名犬珍犬博覧会
1987.8.12～8.24　千葉三越 8階催物会場
主催 読売新聞社
＊アフガン・ハウンド、チャイニーズシャーペイなど25種30匹。

ジミー・バイクのデザート・デザイン展 絵画とテキスタイル・アートの世界
1987.8.13～8.25　渋谷西武 B館8階特設会場
主催 「ジミー・バイクのデザート・デザイン展」実行委員会
料金 600
＊アボリジニ族のジミー・バイクが描いた絵と、それを原画としたシャツやベッド・カバーなど。

日本の名画100年展 新潟県美術博物館所蔵・旧大光コレクションによる
1987.8.19～9.27　横浜そごう 6階そごう美術館
主催 そごう美術館, 美術館連絡協議会, 読売新聞社
＊浅井忠、小山正太郎から李禹煥までの洋画、魁夷などの日本画。

トンボの生態写真展 第1回
1987.8.20～8.25　池袋東武 9階ホール
主催 世界野生生物基金日本委員会, トンボと自然を考える会関東支部
後援 朝日新聞社
料金 無料
＊入賞写真約250点とトンボの標本。

夏休みわくわくメイズランド
1987.8.21～8.26　池袋西武 7階大催事場
料金 200
＊遊びの広場をぬけると迷路の入口、頭と体のテクニックでクリア。

【あ】

相澤特殊技術研究所
走れ！ 世界の蒸気機関車展 …… 240

愛知県
関東東海花の展覧会 第14回 …… 147

愛知県美術館
藤井達吉回顧展 孤高の芸術家 …… 200

晶子友の会
与謝野晶子追慕展 …… 41

アグファ社
カラー・プリント写真展 …… 39

朝倉彫塑館
朝倉文夫遺作展 …… 159

浅野喜市写真展実行委員会
浅野喜市写真展 嵯峨野雪月華 …… 319

朝日イブニングニュース社
オリンピック速報写真展 …… 144
オリンピック・ワイド写真速報 …… 144
サミ・ギュナール作品展 トルコの写真家 …… 261
コロンブスと大航海時代展 アメリカ大陸発見500年 …… 364
「青函連絡船」写真展 津軽海峡の名優、40年の航跡 …… 373

アサヒカメラ
全朝日報道写真展 …… 20
口絵傑作写真展 …… 21
ハリー・シゲタ写真展 …… 21
全朝日報道写真展 …… 50
杉山吉良新作展 フジカラーN100による …… 187
写真展EXPO'70 …… 199
木村伊兵衛の眼 '32～'70写真展 …… 203
白川義員ヒマラヤ写真展 神々の座 …… 211

アサヒカメラ編集部
口絵原画傑作写真展覧会 アサヒカメラ復刊1周年記念 …… 17
田中光常カラー写真展 アフリカの動物家族 …… 182

アサヒグラフ編集部
田中光常カラー写真展 アフリカの動物家族 …… 182

旭光学
アサヒペンタックス国際写真コンテスト入選賞作品展 …… 149
サラ・ムーンの世界 パリの映像詩人 …… 253
サム・ハスキンス写真展 …… 261

旭光学工業
日本の祭典写真コンテスト入賞作品展とアトラクション アサヒペンタックス …… 178
サム・ハスキンスポスターズ東京展 ザ・ガールズ …… 229
上野彦馬写真展 幕末の映像 …… 272

旭光学商事
日本の祭典写真コンテスト入賞作品展とアトラクション アサヒペンタックス …… 178
サム・ハスキンスポスターズ東京展 ザ・ガールズ …… 229
上野彦馬写真展 幕末の映像 …… 272

朝日新聞厚生事業団
結婚と育児展 …… 9
児童文化展 児童福祉法一周年記念 …… 11

朝日新聞厚生文化事業団
全国精神薄弱児作品展 …… 38
源氏物語展 …… 39
忘れられた子らの作品展 第2回 …… 46
三越屋上水上動物園と水族館 …… 47
南極探検こどもの国 …… 55
忘れられた子らの作品展 第3回 …… 55
三越水族館と水の動物園 …… 56
食生活文化展 東南アジア栄養会議開催記念 …… 58
明るい健康展 …… 63
こどもの夢の国 楽しいディズニーランド …… 64
忘れられた子らの作品展 第4回 …… 66
全国精薄児作品展 …… 81
少年電子科学展 …… 86
世界の新しい育児展 浩宮さまご誕生日をお祝いして …… 107
健康をつくる台所展 …… 133
身体障害者福祉展 第13回 …… 140
精薄児版画美術展 第1回 …… 141
山本良比古作品展 …… 170
全盲の画家 鈴木敏之個展 …… 202
「たけのこ学級」土器・はにわ作品展 …… 226
世界の布の絵本・さわる絵本展 …… 296
「ふれあい広場'81」展 国際障害者年にちなむ …… 322
山本良比古作品展 …… 324

朝日新聞社
新日本美術展覧会 …… 3
アメリカ児童画展覧会 …… 5
フランス絵画複製展 …… 6
現代中日版画展 …… 7
ガラスの歴史展 …… 8
オリンピック写真展 …… 8
せともの文化展 …… 9
カメラから見た米国農業科学展 …… 9
日本野球の写真展 …… 11
キリシタン文化史展 サヴィエル来日400年記念 …… 11
島崎藤村回顧展 七回忌に偲ぶ …… 11
カトリック美術展 サヴィエル来日400年記念 …… 11
新着海外ポスター展 …… 11
学童水絵展 …… 12
大観画業六十年展 …… 13
儒教文化展 …… 13
秀作美術展 1949年度の選抜 …… 15
西洋美術史展 …… 15
明治・大正・昭和日本画巨匠名作展 …… 15
写真文化展 タルボット生誕150年記念 …… 15
坪内逍遥回顧展 …… 15
日米水上写真展 …… 16
全国学童水絵作品展 第2回 …… 16
国際写真サロン 第11回 …… 17
清方画業五十年展 …… 17
プラスチックス文化展 …… 18
ニュース写真展 …… 18
フランス・ポスター展 …… 18
秀作美術展 第2回 …… 19
現代人形美術展 第3回 …… 19
藤島武二代表作展 …… 19
茶道名宝展 …… 20
ミナカタ・クマグス展 …… 20
「名作の旅」展 …… 20
国際学童水絵展 第3回 …… 21
英連邦代表作家 肖像写真展 …… 22
欧州二千年名画複製展 …… 22
新日本茶道展 …… 22
ラジオ東京展 …… 22
清水南山遺作展 …… 22
国際写真サロン展 第12回 …… 23
秀作美術展 第3回 …… 24
現代人形美術展 第4回 …… 24
日米美術学生作品展 …… 25
世界写真展の出品作品展 …… 25
古径、靱彦、青邨代表作展 …… 25
現代イタリア写真展 …… 26
オリンピック写真速報展 …… 27
現代日本陶芸展 …… 27
東大寺名宝展 大仏開眼1200年記念 …… 27
国際学童水絵展 第4回 …… 28
朝日ニュース写真展 …… 29
国際彫刻コンクール国内展 …… 29
堂本印象滞欧スケッチ展 …… 29
ルネッサンス・デッサン展 …… 29
奈良唐招提寺展 …… 29
秀作美術展 第4回 …… 29
英連邦児童画展 …… 30
現代人形美術展 第5回 …… 30
朝日広告賞作品展 …… 30
桃山美術展 …… 30
生活工芸展 …… 30
プラスチックス文化展 第3回 …… 31
ユネスコ科学実験展 …… 31
全国仕事着コンクール発表会 …… 31
古今扇面名作展 …… 32
現代日本陶芸展 第2回 …… 33
フランス イタリア建築美写真展 …… 33
アサヒカメラ口絵傑作写真展 …… 33
ラグビー展 …… 33
全日本写真サロン …… 34
元禄美術展 …… 34
皇太子殿下外遊帰国記念写真展 …… 34
井伊大老展 開国百年記念 …… 35
大徳寺名宝展 …… 35
秩父宮御遺作展 …… 35

【あ】

会津 八一
會津八一展 奈良の詩情 …… 220
會津八一展 大和路の詩とこころ …… 398

アイソトープ
アイソトープ展覧会 原子力平和利用 …… 57

藍染
藍染の展望 江戸—現代 阿波藍染誕生600年 …… 421

アイヌ玉(ガラス)
あいぬ玉展 …… 342

アイヌ文化
アイヌ文化展 …… 129

靉光
靉光展 苦悩の画家 魂の叫び …… 299

アヴェドン, リチャード
リチャード・アベドン写真展 時代の肖像 …… 269
アベドン写真展 …… 292

アウシュビッツ
アウシュビッツ展 …… 216

青木 繁
青木繁展 50年記念 …… 114

青木 大乗
青木大乗50年回顧展 …… 188
青木大乗展 米寿記念 …… 280

青木 木米
頴川・木米展 …… 137

青山 熊治
青山熊治展 …… 104

青山 亘幹
青山亘幹展 …… 408

「赤糸威大鎧」
奈良春日 興福寺国宝展 仏教伝来千四百年記念 …… 24

「赤毛のアン」
「赤毛のアン」展 …… 438

赤塚 不二夫
ザ・赤塚不二夫 おそ松くんわんばくランド …… 432

「秋草文壺」
日本名陶百選展 …… 115

秋野 克彦
秋野克彦展 …… 235

秋野 不矩
秋野不矩自選展 女流画家インドを描く …… 376

秋山 育
イラストレーション3人展 …… 321

秋山 庄太郎
秋山庄太郎新作展 …… 423

アクセサリー
日本と世界のアクセサリー展 …… 91
江戸のアクセサリー展 …… 107
武士のアクセサリー展 根津美術館所蔵 …… 159

芥川賞
芥川/直木賞展 創設30年記念 …… 146
芥川賞・直木賞展 …… 344

アグネス・ラム
クラリオン アグネスラム写真展 …… 259

安久利 徳
安久利徳「ドナウの旅人」挿画展 …… 380

浅井 忠
浅井忠水彩画展 …… 93

朝倉 響子
朝倉響子彫刻展 …… 385

朝倉 摂
「19階日本横丁」さし絵展 …… 221

朝倉 文夫
朝倉文夫回顧展 …… 42
朝倉文夫遺作展 …… 159
朝倉文夫の世界展 …… 401

麻田 鷹司
麻田鷹司「今日と明日」展 …… 294
麻田鷹司素描展 …… 321

浅野 喜市
浅野喜市写真展 嵯峨野雪月華 …… 319

「アサヒカメラ」
口絵原画傑作写真展覧会 アサヒカメラ復刊1周年記念 …… 17
口絵傑作写真展 …… 21
アサヒカメラ口絵傑作写真展 …… 33
アサヒカメラ口絵写真展 …… 51

浅見 錦龍
浅見錦龍還暦書展 …… 330

アジア・アフリカ
アジア・アフリカ美術展 …… 70
アジアアフリカ民族展 …… 75

飛鳥
飛鳥展—その謎をさぐる …… 222
四季の飛鳥展 …… 230

アステカ文明
アステカ文明展 メキシコに栄えた太陽の国 …… 238

吾妻 兼治郎
吾妻兼治郎展 在イタリア30年、MU(無)・YU(有)を刻む …… 429

畦地 梅太郎
畦地梅太郎版画展 …… 428

阿蘇
阿蘇百景写真展 …… 44

遊び
ふるさとのあそび展 …… 240
ひろがる視覚世界—遊びの博物館 …… 293
遊びの博物館パートⅡ展 …… 361
江戸の遊び絵展 ユーモアとウイットの世界 …… 361
王朝の遊び—いにしえの雅な世界展 …… 420

アダムス, アンセル
アンセル・アダムス展 自然の本質を追求する偉大な写真芸術家 …… 349

アート・ディレクション
アート・ディレクション・ツデイ展 …… 361

跡見 花蹊
跡見花蹊回顧展 跡見学園創立100年記念 …… 253

アニメ
テレビアニメの世界展 鉄腕アトムからキャプテンハーロックまで テレビアニメ15年のあゆみ …… 280
ゴールデンアニメフェスティバル 創立20周年記念 …… 320
東映まんが祭りアニメ原画展 …… 346
アニメ博覧会 …… 424

アーバス, ダイアン
ダイアン・アーバス遺作展 …… 229

アバティ, マリオ
マリオ・アバティ版画展 メゾチントの叙情詩人 …… 272

アパート
アパート生活展 しゃれた暮しの設計 …… 80

アフガニスタン古代美術
アフガニスタン古代美術展 シルクロードの花 …… 133

油絵
明治から昭和へ 油絵の100年展 …… 149

アフリカ
赤道アフリカ横断展 …… 78
ブラックゴールドアフリカ写真展 …… 148
アフリカ展 "ブワナ・トシの歌"、"クワヘリ"ロードショウ記念 …… 151
アフリカ黒人芸術展 失われた人間性を求めて …… 179
読売アフリカ募金 愛の写真展 …… 378

アフリカ芸術
アフリカ芸術展 20世紀美術の扉を開いた …… 108
アフリカ芸術展 …… 112

編者略歴

志賀 健二郎（しが・けんじろう）

1950年、兵庫県生まれ。1974年、京都大学文学部卒業。小田急百貨店入社（～2006年）。小田急グランドギャラリーなどを担当、小田急美術館館長を兼務。2006年、川崎市市民ミュージアム館長（～2011年）。
現在、渋谷ファッション＆アート専門学校校長（田中千代学園副理事長）。
著書に『百貨店の展覧会―昭和のみせもの 1945-1988』（2018年、筑摩書房）『小田急百貨店の展覧会―新宿西口の戦後50年』（2022年、筑摩書房）。

百貨店展覧会史
―戦後昭和の世相と文化の記録

2024年7月25日　第1刷発行

編　　者／志賀健二郎
発 行 者／山下浩
発　　行／日外アソシエーツ株式会社
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス
電話 (03)3763-5241（代表） FAX(03)3764-0845
URL https://www.nichigai.co.jp/

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社
印刷・製本／株式会社平河工業社

© SHIGA Kenjiro 2024
不許複製・禁無断転載　《中性紙北越淡クリームキンマリ使用》
<落丁・乱丁本はお取り替えいたします>

ISBN978-4-8169-3017-1　*Printed in Japan,2024*

本書はデジタルデータを有償販売しております。
詳細はお問い合わせください。